

暑い会場 霧で涼しく

新大大学院 屋外冷却の実験

新潟まつりの子どもみこし行列などで盛り上がった新潟市中央区の古町通りで九日、ミスト（霧状の水滴）噴霧による空気が冷却実験が行われた。

祭りの見物客や、上気した顔でみこしを担ぐ子どもらを白いミストが包み、涼しく快適な空間を演出した。

同実験を行ったのは、

新潟大学大学院自然科学研究科、赤林伸一教授の研究室。水が蒸発する際に周囲の熱を奪う性質を利用し、空気中にごく細かい水滴を噴霧して気温を下げた。

冷却効果を多くの人に知ってほしいと祭りに合わせた、本県では初の実験。一般の冷房装置が使用している。

えない屋外や半屋外で有効とされており、古町通りのアーケード内で試みた。



赤林研究室のミスト噴霧実験。真っ白なミストがアーケード内に広がり、気温を下げた＝9日、新潟市中央区古町通6

実験ではポンプで水に圧力をかけ、三層の高さに幅六センチにわたって設置した九つのノズルからミストを噴霧。同日のアーケード内の気温は三〇度だったが、周辺は二七度前後に下がり、子どもたちは「涼しい」「クーラーみたい」と大はしゃぎでミストを浴びていた。

赤林教授は「気持ちよさそうにしている人が多く、実験したかいがあった。テニスなど屋外スポーツの会場や、サッカースタジアムなどでも効果が期待できそうだ」と話している。